

1 国語に関する調査

【特長】

- 目的や意図に応じて集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることがよくできている。話したり聞いたり話し合ったりする目的を確認しながら、伝え合う内容を検討する指導を行った成果だと考えられる。
- 意見と根拠の関係を理解することに加えて、判断や考えを示す意見を裏付ける、より適切な根拠の在り方を理解できている。

【課題】

- 短歌の内容について、描写を基に捉えることに課題がある。場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、場面と場面、場面と描写などを結び付け、内容を理解する学習にさらに取り組む必要がある。
- 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題があることから、報告や解説などの文章を読み、説明したり文章にまとめたりする活動を取り入れる必要がある。

2 数学に関する調査

【特長】

- 問題場面における考察の対象を明確に捉え、具体的な事象の数量での関係を文字を用いた式で表したり、式の意味を読み取ったりすることがよくできている。
- 具体的な事象について伴って変わる二つの数量を取り出し、それらの間にどのような関数関係があるか、また、それがどのような式やグラフで表されるかについて、解釈することがよくできている。

【課題】

- 三角形の合同条件をもとにして、基本的な性質を見付け、筋道を立てて考え、証明することに課題がある。証明の方針を立て、それに基づいて仮定から結論を導く推論の過程を数学的に表現できるように指導することが大切である。
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。目的に応じて表、式、グラフを適切に選択し的確に表現する活動にさらに取り組む必要がある。

3 生徒質問紙の結果より

【特長】

- ・人の役に立つ人間になりたいと思うと回答した生徒の割合が高い。生徒が地域行事やボランティア活動に参加したり、学校行事などにおいても協力して意欲的に活動したりする機会を積極的に設けている成果だと考えられる。
- ・友達関係に満足している生徒の割合が高い。年間複数回に渡り悩みなどについてのアンケート調査を行うなど、生徒一人一人に寄り添う指導を継続している成果だと考えられる。

【課題】

- ・各授業におけるPC・タブレット端末などのICT機器の使用状況については、十分に活用されているとは言い難い状況にある。今後は授業や特別活動などの様々な場面において、これらの機器を使う機会をさらに増やしていく必要がある。
- ・携帯電話・スマートフォンやPCの使い方について、家の人との約束をきちんと守っている割合が比較的低い。家庭と連携を取りながら情報教育の充実を図っていきたい。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・ユニバーサルデザインを意識した学習環境づくりとインクルーシブ教育の視点を大切にした学校運営により、すべての生徒が主体的に学び、学力を向上させるよう取り組んでいく。
- ・ICT機器を日常的に活用することにより、生徒自らが見通しを立てたり、学習の状況を把握し、新たな学習方法を見出したり、自ら学び直しや発展的な学習を行いやすくしたりすることができるよう取り組んでいく。
- ・学校生活における人間関係は良好であるが、いじめはどんな理由があってもいけないという意識は今後も継続的に指導し、様々な場面において人権感覚を育てていく。
- ・保護者や地域に感謝の気持ちを持ち、自分たちの住む地域に誇りと愛着を持った生活が送れるように努める。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・子どもは家庭・学校・地域の中で育ちます。学校行事や地域行事にはご家族で積極的に参加していただき、子どもたちを共に励まし支えていきましょう。
- ・子どもが家庭学習を計画的に進める習慣を身に付けたり、長い目で見た将来の夢や人生設計などについて考えたりすることができるように、家族で話し合う時間を設けてください。
- ・インターネットやゲーム、スマートフォンの扱いに関する家庭内のルールを確立し、生活リズムの乱れや非行・犯罪被害に発展しないよう留意してください。